

## 令和 4 年度事業の総括

令和 4 年度の沖縄県入域観光客数は 677 万 4,600 人で、対前年度比で 350 万 300 人、率にして 106.9%と過去最高の増加となった。これまで最多の 1,000 万 4,300 人を記録した平成 30 年度に対しては、67.7 %の水準まで回復している。

国内客は、対前年度比で 330 万 200 人、率にして 100.8%増の 657 万 4,500 人と大幅な増加となった。これまで過去最高を記録した平成 30 年度の 700 万 3,500 人に対し、93.9%の水準に回復している。

外国人観光客については、20 万 100 人となり、前年度のゼロから 3 年ぶりに皆増となった。3 月に運行が再開されたクルーズ船において、13,100 人の来訪があった。

全体的な増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限のない状況が継続していることと、10 月からの全国旅行支援が実施され需要喚起がなされたこと、外国人客に対する水際対策の緩和が進んでいることや国内・国外クルーズ船が再開されたことなどがあげられる。

名護市観光協会では、当初計画を予定していた主事業として、8 月の名護市長杯争奪全島ハーリー大会が感染拡大により 3 年連続中止となった。

しかし、12 月の名護さくらの女王選考会は、個別による面接方式で開催を実施し第 49 代の 3 名の女王が誕生し現在活動を行っている。

3 年ぶりの開催となる名護さくら祭りは、天候にも恵まれ友好都市の皆様を迎え入れ、市民とともに 60 回の記念祭りを祝った。来場者数は過去最高の 204,048 名と発表した。

コロナ支援として、前年度に引き続きコロナ禍で疲弊した観光事業者への救済支援のため、「宿泊施設・体験施設・観光施設」の早期需要回復を図る目的で、名護市の観光需要拡大キャンペーン『名護市観光産業支援事業/第 2 弾 7515 キャンペーン』を実施し、加盟店には宿泊 43 施設・体験 23 施設・デジタル商品券 49 施設 合計 115 施設の協力を頂き、24,603 名にご利用していただいた。

また、名護市・商工会・観光協会で強化している事業として、ふるさと納税返礼品増強の PR 強化に努めており、令和 4 年度件数 8,726 件で対前年比 948 件の増加となり寄付金額も 342,249,125 円と対前年比 144,709,125 円の増加となった。

広域連携事業として、NHK 連続テレビ小説「ちむどんどん」の追い風を受けやんばるが一つにつながり、持続可能な観光地として今後も進み続けるため『やんばるチームどんどん協議会』（北部 12 市町村観光協会・美ら島財団・国建・イオン琉球）を設立。『やんばるは一つ』を合言葉に北部広域市町村圏事務組合と連携し、県内外でやんばるの PR を行うことができた。

結びに、名護市では令和 7 年スタートの第 3 次観光振興基本計画の策定準備にとりかかるところであり、名護市観光協会としての意見を集約し基本計画へ反映できるよう名護市へ提案を行い市場のニーズに合った観光施策が実施できるよう市と連携を図って取組んでいきたい。

## 【会 議】

### 第 1 回理事会

【令和 4 年 6 月 7 日（火）15 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 3 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 3 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・任期満了に伴う理事・監事候補者名簿承認の件
- ・理事長・副理事長・常務理事選定の件
- ・評議員候補者名簿承認の件
- ・顧問選任の件
- ・評議員開催日日時及び場所並びに議案事項について

### 第 1 回評議員会

【令和 4 年 6 月 24 日（金）16 時 30 分～

名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 3 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 3 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・理事選任承認の件
- ・監事選任承認の件
- ・評議員選任承認の件

### 第 2 回理事会

【令和 4 年 11 月 29 日（火）15 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・名護市観光産業支援事業の件
- ・令和 4 年度収支補正予算承認の件

### 第 3 回理事会

【令和 5 年 3 月 28 日（火）13 時 30 分～

名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 5 年度事業計画（案）について
- ・令和 5 年度収支予算（案）について

## 【公益目的事業】

### 1 観光宣伝誘客・情報提供事業

#### (1) 観光案内事業

観光協会の案内窓口や電話による問い合わせが増加しており、旅行に来る事前の情報としてパンフレットの郵送依頼も、前年度は 495 件に対して今年度は 1140 件と大幅な増加となった。

#### (2) ホームページによる情報提供及び発信

ホームページによる市内の観光地・観光施設・宿泊施設等の情報・各種イベント情報を掲載し、プロ野球キャンプ・賛助会員の紹介等に努めている。

今年度ページビュー数 844,527 で対前年と比較し 249,227 の増であった。検索キーワード「名護観光」で訪問してもらうことを目標に運用し、7515 キャンペーンの実施や SNS の活用、時季的な情報掲載を図ったことが閲覧数の増加に繋がった。

#### (3) 観光パンフレットの作成・配布

『名護のツボ』と『食・飲・買・遊・道・走』のパンフレットや名護 GOGO マップを、宿泊施設・観光施設へ希望に応じて配布を行った。

その他、北部広域市町村圏事務組合と連携事業した県外 PR にも活用した。

#### (4) ポスターの作成・配布・掲載

名護さくら祭りのポスター3,000 枚を作成し 3 年ぶりの祭り開催について、県内外へ情報を発信した。

JAL/JTA セールスの日本全国 25 ヶ所の空港窓口へ、さくらの贈呈とポスターの配布を行い本部半島（名護・本部・今帰仁）三大さくら祭りの PR を行った。

#### (5) 県内外宣伝 PR 活動

##### (ア) テレビ・ラジオ・新聞・マスコミ関係者への取材協力

名護市観光産業支援事業「第 2 弾 7515 キャンペーン」をメディア及び OTA を活用して下記へ告知を行った。

- ・OTS、ちゅらとく、JAL, ANA, Yahoo!, るるぶ、JTB
- ・TBS テレビ（ひるおび）
- ・東海ラジオ放送で名護さくら祭り及び春季キャンプの PR を行った
- ・北海道新聞から春季キャンプについての取材対応した

(イ) 名護市親善大使

この1年は観光再起動の年で、名護さくらの女王の活動もコロナ禍前までとは  
いかないが、昨年度8件に対し24件の行事等へ参加しPR活動を行った。北海道  
日本ハムファイターズ応援ツアーや友好都市（枚方市・滝川市）の物産展に参加  
し県外PR活動も再開。また、ツール・ド・おきなわ大会表彰式等にも参加し親  
善大使としてPRに努めた。

(ウ) 観光キャラクター活用事業

名護市の公認キャラクター「名護親方」着ぐるみについては、「美ら島おきな  
わ文化祭 2022」市町村大会一セレモニーをはじめ、市内小中学校挨拶運動等合計  
12件の利用があった。

(エ) 沖縄修学旅行説明会の参加

「令和4年度 沖縄修学旅行 SDGs EXPO in 東京」（令和4年12月27日）  
（場所：東京交通会館12階）出展：42社、来場者：学校・旅行社79名  
新学習指導要領の改訂に対応する「SDGs」や「探究学習」のニーズに対して  
名護市内で体験できるSDGsプログラムや探究学習についての魅力や学習効果  
を発信した。

(オ) 第44回名護市長杯争奪全島ハーリー大会

新型コロナウイルス感染症拡大により、ハーリー大会運営委員会・実行委員会  
で協議し、沖縄県のイベント開催基準をベースに申し込み条件としたが、参加者  
が少なく3年連続の中止となった。

(カ) 第60回名護さくらまつり

コロナの影響の収束により、60回の節目として3年ぶりの開催となり市民とと  
もに桜を見つめなおす原点回帰を目的に開催した。60周年記念事業で実施したラ  
イトアップも夜桜をみる新たなコンテンツとして市民から好評をいただいた。

天候にも恵まれ、60回記念を祝う満開の桜でお客様を迎え入れ、二日間の来場  
者数過去最高の204,048名と発表した。

(キ) ふるさと納税返礼品増強

令和4年度件数 8,726 件（令和3年度 7,778 件）対前年度より 948 件増加。

令和3年度寄付金額：197,540,000 円

令和4年度寄付金額：342,249,125 円 対前年度 170%増

※増強の要因として、ふるさと納税のポータルサイト増（1 件→5 件）と返礼品の観光商品増（19 件→41 件）

※返礼品人気商品：①ホテル館内利用券②ペア宿泊券

※ポータルサイト（ふるさとチョイス、新規 JTBふるぽ、楽天、ふるなび、一休.com）

(ク) 名護市観光産業支援事業（第2弾 7515 キャンペーン）

コロナ禍で疲弊した観光事業者への救済支援として「宿泊施設・体験施設・観光施設」の早期需要回復を図る目的で、名護市の観光需要拡大キャンペーン『名護市観光産業支援事業/第2弾 7515 キャンペーン』を実施した。

加盟店舗数：宿泊施設 43 店舗 体験施設 23 店舗 デジタル商品券 49 店舗

取扱総額：136,416,032 円

助成額：87,192,439 円

## 2 受入体制強化事業

(1) スポーツコンベンション受入支援事業

北海道日本ハムファイターズ春季キャンプの受入れについて、ファイターズ名護協力会（事務局：商工会）と連携し、球場周辺をのぼりや花壇の設置作業を行った。名護ファイターズクラブ後援会（事務局：観光協会）において、2月25日・26日のオープン戦の応援やチケット販売の協力を行った。

(2) 体験学習等の推進事業

ハーリー体験参加者数：253 名

まちなか散策参加数：97 名

平和学習参加数：131 名

(3) 名護さくらのまち推進事業（名護城のさくら整備に関する事）

総事業費 11,374 千円（昨年同額）。本年度は老木等既存の桜の剪定及び防腐処理を行い、名護城公園さくらの園へヒカンザクラ（2m）30 本を後継樹として植栽した。また、除草や下刈等開花環境を整備し花見スポットを拡充した。

#### (4) 2022 海の安全祈願祭

海水浴やマリンスポーツ楽しむ市内外・県外からの多くの観光客を迎える為に、海の安全祈願祭を実施すると同時に会員の交流を目的に、ビーチクリーンも行った。

・クリーンアップ活動参加者約 112 名                      ・海の安全祈願祭 関係者 15 名

#### (5) 接遇マナー講習会

名護市に訪れる観光客に対する「おもてなしの心」で対応する為、賛助会員（観光施設）を主に、接客マナーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により開催を見送った。

#### (6) 友好都市物産展受入

北海道滝川市（マツオジンギスカン）（名護桜祭り）

名護さくら祭りでの初の試みで、市営市場前の広場を活用して友好都市物産展を開催し、二日間で完売に近い売れ行きで大盛況であった。

### 【収益事業】

#### (1) 市営駐車場指定管理事業

名護市港駐車場の一般利用について、昨年度 5,742 件の利用者に対し今年度は 11,058 件で 5,316 件の増加となった。がじゅまる駐車場の一般利用については、昨年度 1,293 件に対し今年度は 1,843 件で 550 件増加した。各駐車場ともに、コロナ禍前に近い利用者数になっている。

当協会として、メインコンセプトに掲げている「おもてなしの心・安心・安全な環境づくり」を目指し利用しやすい駐車場管理運営業務を遂行し、市民をはじめ県内外のお客様が有効的に利用できるような市街地の説明やパンフレット等を配布し観光案内機能を備えたサービスの提供で満足度を高める努力を行っている。環境整備についても担当部局と連携し、安心、安全な駐車場の整備を行っている。

#### (2) バス乗車券販売事業

沖縄エアシャトルバスの乗車券、名護・那覇間の高速バスの利用者の利便性を考え、市街地でも購入できる目的で当協会でも販売を行っていたが、コンビニ購入や電子チケット販売開始に伴い、令和 5 年 2 月末をもって販売事業を終了した。

### 3 調査・研究事業

観光産業におけるデータ活用については今後重要となることから、名護市からの紹介で、観光人流データ分析の第一人者である(株)Agoop 代表の柴山氏をお招きしセミナーを開催した。観光協会役員、観光事業者、名護市関係者総勢 35 名がセミナーを受講した。

今後、名護市及び北部エリアの観光人流データを把握して分析することにより、受入体制を整えることができるなど多くの反響をいただいた。

#### 4 各種イベントの開催並びに主管事業

- ① 2022 海の安全祈願祭【4/23 実施】
- ② 2022 北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー【5/19～22 実施】
- ③ 第44回名護市長杯争奪全島ハーリー大会【中止】
- ④ 第49代名護さくらの女王選考会【12/18 実施】
- ⑤ 第60回名護さくら祭り【1/28・29 実施】

#### 5 各種イベントの協力事業

- ① 第29回羽地ダム鯉のぼり祭り【名護市主催 中止】
- ② 第44回名護夏祭り【商工会青年部主催 中止】
- ③ 第33回名護市青年エイサーまつり【祭り実行委員会主催 9/18 実施】
- ④ 第34回ツールド・おきなわ【ツールドおきなわ協会主催 11/12・13 実施】
- ⑤ 第35回名護・やんばるツーデーマーチ【名護市主催 中止】
- ⑥ 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ【2月1か月間実施】

#### 6 観光美化事業

- ① 21世紀ビーチのクリーン活動【4/23 実施】
- ② 名護漁港構内のクリーン活動【8月予定/コロナウイルスの影響で中止】
- ② 名護さくら育樹活動  
名護市、さくらの会・観光協会、他市民総勢 150 名余りが参加をして 10 月 29 日（土）、3 月 11 日（土）の年 2 回、名護城周辺の草刈りや肥培管理を実施した。

#### 【賛助会員】

令和 4 年 4 月 1 日現在：179 社

令和 5 年 3 月 31 日現在：177 社【新規入会：3 社 退会：5 社】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済活動が左右される状況が継続している中、対前年より退会社数が減少しているものの当協会事業運営に影響がでていない状況である。令和 4 年度の退会 5 社については、廃業による状況が多かった。

業種内訳として、菓子店 1 社・体験施設 2 社・不動産業 1 社・ゴルフ場 1 社であった。

【ページビュー数】

月	ページビュー数 令和3年度	ページビュー数 令和4年度	増減
4月	11,223	16,825	5,602
5月	13,575	19,243	5,668
6月	12,293	30,471	18,178
7月	14,678	38,293	23,615
8月	14,899	26,523	11,624
9月	14,193	23,994	9,801
10月	40,535	24,781	△15,754
11月	279,313	33,492	△245,821
12月	70,842	304,488	233,646
1月	72,382	197,980	125,598
2月	32,163	105,242	73,079
3月	19,204	23,195	3,991
合計	595,300	844,527	249,227

上半期、観光客の増加により特にファミリー層が増え、海水浴場や観光施設への情報検索によりページビュー数の増加につながった。

下半期は、11月は、前年度の「7515 キャンペーン」の開始月であり対前年比減となっているが、全国を対象とした観光需要喚起策として、「全国旅行支援」が10月より開始し、これに合わせて「おきなわ再発見NEXT」も実施され県外からもアクセスが増加した。

また12月から名護市観光産業支援事業（第2弾 7515 キャンペーン）を実施したことにより、リンクページを多くの利用者が検索した結果、キャンペーン期間中の特設サイトには464,705件のアクセスがあった。

1月は、3年ぶりとなる名護さくら祭りの開催や2月は、北海道からのアクセスが多く北海道日本ハムファイターズのキャンプ情報等のサイト訪問者が多かったと思慮できる。

昨年同様20代から40代までの年代のサイト訪問者が多く、旅行や外出に対する変化があり、名護市の自然、観光、遊び、レジャーなどアクティブに楽しむ方法を検索する傾向がみられたのは良かった点である。

結びに、上半期こそ新型コロナウイルス感染症の影響を受けることもあったが、GWや夏休みの行動制限がなく、対19年度比（国内）80%まで入域数が回復した事により、これまで旅行を我慢していた人や、行き先を海外から沖縄へ変えた方が多く見られ、特にファミリー層が増え、海水浴場や観光施設の情報検索が増加につながったと伺える。